

総合戦略を振り返って IV. 人口減少社会への対応

数値目標の 達成状況

目 標：「住みやすい」と感じる割合…57.1% (H26)→67% (R1)※アンケート調査
達成状況：R1年にアンケートを実施予定。

① 能代山本定住自立圏構想事業

▶事業内容

生活に必要な都市機能について一定の集積がある「能代市」と、住民生活等において能代市と密接な関係を有する八峰町、三種町、藤里町の3町が、定住の受け皿として「定住自立圏」を形成し、互いに連携・協力することにより住民の生活に必要な機能を確保して、圏域全体の活性化を図ると共に、人口の定住を促進する。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

「共生ビジョン懇談会」や「市町長意見交換会」で、共生ビジョンの変更を行った。

今後の方針・改善点

- ・他圏域の取り組みも参考にしつつ、共生ビジョンに位置づけられている連携事業について検討していく。
- ・能代山本での工場の新增設に伴い、圏域内の住民を雇用した事業者に対し、広域連携雇用奨励金を支払う事業でサポートしていく。

② 交通空白地・交通弱者対策事業

▶事業内容

旅客運送サービスを実施する事業者等と連携し、町内における地域住民の日常生活に必要な交通手段の確保を図る。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・バス乗車券類購入支援事業
補助金額 2,256,585円 利用客数 のべ517人
- ・公共交通空白地有償運送事業 (H28.4.1～)
補助金額 2,221,000円 利用客数 のべ223人

今後の方針・改善点

- ・バス乗車券類購入支援事業
- ・公共交通空白地有償運送事業

④ まちづくり活動支援事業

▶事業内容

町民や町内の団体等が行う、町民生活を豊かにする取り組みを応援することにより、町民活動の活性化を図るとともに、団体の自立支援を行うことで協働のまちづくりを推進する。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・町内におけるまちづくり活動を支援することにより、活動団体の自立促進と活力あるまちづくりを強力に推進する。
- ・補助対象経費の1/2、50万円を上限に補助する。
採択件数 0件

今後の方針・改善点

(採択予定件数) 予定はないが、申請があれば適宜補助金を交付する。

⑤ 元気な高齢者による地域づくり事業

▶事業内容

就業機会の提供や社会参加に対する支援など、元気な高齢者が地域内で活躍できる支援体制を構築し、高齢者が健康で生きがいをもって生活できる環境を整備する。また、高齢者が地域の担い手となり、地域の問題解決に取り組んでいけるような「高齢者自立型」の地域づくりに向けた取り組みを推進する。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・軽度生活援助事業 (シルバー人材センターへ委託)
463,320円 例) 家周りの手入れ
- ・老人クラブ補助金 1,751,760円
- ・ことぶき大学開設 1,507,000円

今後の方針・改善点

- ・地域社会の担い手として、豊かな経験と知識・技能を活かしたボランティア活動や健康増進などに積極的に取り組んでいる老人クラブの運営を引き続き支援する。
- ・高齢者の生きがいづくりに取り組む団体を支援する。(八峰町まちづくり活動支援事業等)

総合戦略を振り返って III. 少子化対策

数値目標の 達成状況

目 標：出生数 … 26人 (H26) → 40人 (R1)
達成状況：19人 (H27) → 24人 (H28) → 17人 (H29) → 24人 (H30)

② 出会いの場創出事業

▶事業内容

独身男女の出会いの場が少ないことが、晩婚化・未婚化の要因の一つとなっていることから、周辺市町村や関係団体、結婚サポーター等と連携し、出会いのきっかけとなる「お見合い」や各種イベント等の実施を促進する。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・出会いの場創出イベント 1回
7月 恋のキス釣りマスターズ

今後の方針・改善点

- ・今年度計画の主なイベント
町内事業所等の従業員を対象とした交流イベントおよびスキルアップセミナー
- ・圏域での成婚を促すため、男女の出会いの場の創出等に取り組む団体等を支援する。
- ★20代の女性が働きやすい職場が必要。町に残ってもらえる環境づくりが必要。町と民間で協力していきたい。

③ 子育て世帯負担軽減事業

▶事業内容

出産祝金の支給や医療費・保育料等の軽減化、小中学校入学祝金など、切れ目のない支援を行っていくことで、安心して子供を産み育てられる環境を整備する。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・保育料 0～2歳：半額、3歳以上：無料
- ・医療費 誕生から満18歳到達後の3月31日まで無料
- ・誕生祝金 1・2子：5万円、3子以降：10万円
- ・給食費 小中学校：半額

今後の方針・改善点

これまでの取り組みに同じ。

⑤ ICT教育環境整備事業

▶事業内容

学力の基礎が培われる就学前(園児)から中学生まで、ICT機器を取り入れた保育や教育を実践していくことで、高度情報化、グローバル社会を生き抜く力を養成する。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・文部科学省「次世代の教育情報化推進事業」の委託指定を受け、小学校2校を事業推進校として、ICTを活用した単元指導計画を策定した。
- ・ICT教育環境整備として、大型電子黒板やタブレット、プログラミング教育用機器等の更新等およびネットワークの改善を行った。

今後の方針・改善点

プログラミング教育が2020年度から小学校で全面实施される。2021年度からは中学校で実施予定である。このことから、授業者である教員に向けた指導方法等の研修を行い、学校現場が円滑に授業をできるよう支援する。

⑥ ふるさと教育推進事業

▶事業内容

地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源を活用し、学校、家庭、地域が一体となって、ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい児童・生徒の育成を図る。

▶これまでの取り組み (H30年度の実績)

- ・小中学校で職場体験や特産品PR、オリジナル商品の開発・販売を行い、町の現状や課題についての理解を深め、地域社会に貢献する力を身につける事業を行った。
- ・学校運営協議会による、コミュニティスクール事業を推進した。

今後の方針・改善点

- ・白神山、ジオパーク等の自然環境での体験学習、地域の伝統文化に触れる体験学習、一次産業に関連した栽培学習、地域の産業に触れる職場体験学習を実施し、持続可能な地域社会づくりに貢献する力を身につけさせる。
- ★学習指導要領の改訂で、田植えや稲刈りなどの体験学習などの時間をとりづらくなると思うが、工夫すれば中学校でも可能だと思う。